

# 1 沿革

- 昭和24年 5月 北海道学芸大学設置  
25年 7月 附属図書館設置(管理係、整理係及び運営係の3係制)  
札幌に中央館、函館・旭川・釧路・岩見沢に分館(図書係の1係制)を置く  
27年 8月 附属図書館規程を制定し、図書館協議会を置く  
29年 7月 中央館の事務組織を整理運用係及び運営係の2係制に変更  
31年 7月 函館分館新築落成  
12月 新着雑誌目次速報「学術文献収報」刊行(昭和53年7月、第199号をもって休刊)  
32年 4月 中央館の事務組織を総務係、整理係及び運用係の3係制に変更  
10月 「洋書目録(昭和26年～昭和30年)」刊行  
34年 11月 中央館新築落成  
36年 6月 岩見沢分館新築落成  
10月 旭川分館新築落成  
38年 11月 釧路分館新築落成  
39年 12月 「北海道学芸大学図書館報」創刊  
40年 4月 函館分館増築落成  
41年 4月 北海道学芸大学附属図書館を北海道教育大学附属図書館と改称  
42年 4月 附属図書館規程を改正し、札幌分室及び図書館運営委員会を置く  
各館において指定図書制度実施(学内予算)  
文部省指定図書予算の配分 43年 4月 函館分館  
44年 4月 札幌分室  
45年 4月 釧路分館  
46年 4月 旭川分館及び岩見沢分館  
7月 「洋書目録—教育編—1949～1966」刊行  
43年 5月 事務組織規程の改正により、分校図書係を分館図書係に改称  
8月 中央館に参考係を設置し、4係制に変更  
44年 3月 「和漢書総合目録—教育編—1949～1966」刊行  
45年 2月 「北海道教育大学図書総合目録—人文科学編—1965～1968」  
「北海道教育大学図書総合目録—社会科学編—1965～1968」  
「北海道教育大学図書総合目録—自然科学編—1965～1968」  
を刊行  
3月 「北海道教育大学学術雑誌総合目録1969年版」刊行  
46年 3月 「北海道教育大学図書総合目録1969年版」刊行(以降、1988年版まで毎年刊行)  
47年 11月 旭川分館新築落成  
48年 4月 「北海道教育大学附属図書館目録規則—第1版—」制定施行  
50年 3月 「北海道教育大学学術雑誌総合目録1974年版」刊行  
52年 1月 「北海道教育大学附属図書館NDC補充表」刊行  
6月 昭和52年度国立大学図書館協議会岸本奨励賞受賞  
(北海道教育大学附属図書館における整理業務の合理化・標準化)  
7月 北海道教育資料収集整備計画の策定実施  
10月 「北海道教育大学附属図書館目録規則—改訂第2版—附：教科書分類規程」制定施行  
53年 7月 札幌分室及び岩見沢分館で時間外閲覧業務実施  
54年 1月 「教育資料通信」(北海道教育資料収集整備計画広報連絡誌)刊行  
(以降、第20号まで刊行)  
2月 「北海道教育資料目録」第1集及び第2集刊行(以降、第16集まで刊行)  
4月 函館分館、旭川分館及び釧路分館で時間外閲覧業務実施(全館で実施)  
55年 1月 岩見沢分館新築落成  
2月 函館分館増築落成  
3月 「北海道教育大学学術雑誌総合目録1979年版」刊行  
56年 3月 「北海道教育大学図書総合目録索引—教育編—」刊行(以降、人文科学編、社会科学編及び自然科学編  
の順に1989年2月まで年1編刊行)  
60年 6月 昭和60年度国立大学図書館協議会賞受賞  
(北海道教育大学附属図書館における北海道教育資料収集整備事業)  
62年 4月 中央館(札幌分室)新築移転(札幌市中央区南22条から同市北区あいの里へ)  
63年 2月 図書館業務の電算化開始(学術情報センターの目録システムに参加。北海道大学図書館システムの端末で  
学術情報センターとオンライン接続し、図書及び雑誌の目録所在情報データの入力を開始)  
平成2年 4月 中央館に図書館専門員配置  
3年 3月 「北海道教育大学所蔵逐次刊行物総合目録1991年版」刊行  
4年 4月 学術情報センターILLシステム(電子的手段による図書館間相互貸借システム)の運用開始  
5年 4月 土曜日の時間外閲覧業務実施(全館)  
6年 8月 釧路分館新築落成  
7年 3月 図書館業務用電子計算機システム更新(富士通・ILIS/X-WR)  
CD-ROMサーバシステムの運用開始  
4月 日曜日の時間外閲覧業務実施(中央館)

- 5月 オンライン目録検索 (OPAC) サービス開始  
7月 目録情報の週及入力開始  
10月 日曜日・祝日の時間外閲覧業務実施 (岩見沢分館)  
8年2月 旭川分館書庫増設 (電動書架設置)  
4月 祝日の時間外閲覧業務実施 (中央館)・日曜日の時間外閲覧業務実施 (函館分館)  
10年10月 「北海道教育資料データベース」の構築  
(副読本, 記念誌・沿革誌, 教科書の書誌データの入力を開始)  
11月 「北海道教育資料収集整備事業実施報告書」の刊行  
11年2月 図書館情報システム更新 (リコー・LIMEDIO (UNIX 版))  
(閲覧管理業務, 図書・雑誌受入管理業務の開始)  
\* CD-ROM サーバシステムの更新  
\* 「第Ⅱ期北海道教育資料収集整備計画」の策定  
11月 北海道教育大学創立50周年並びに大学院修士課程完成を記念し, 「北海道教育資料展」を開催  
13年1月 中央省庁等の再編により, 文部省は文部科学省となった。  
3月 ブックディテクション更新 (中央館)  
4月 文献複写料金徴収猶予電子的申請・許可システムの導入  
\* 平日の時間外閲覧業務時間の延長実施 (中央館, 函館分館, 旭川分館)  
\* 文献画像伝送システム導入, 10月運用開始  
10月 平日の時間外閲覧業務時間の延長実施 (釧路分館, 岩見沢分館)  
14年3月 附属図書館の整備について (基本方針) 策定  
10月 図書館利用者アンケート実施  
15年2月 図書館情報システム更新 (リコー・LIMEDIO (WINDOWS 版))  
\* 附属図書館中期目標・中期計画策定  
\* 平日の開館時間の繰り上げ (午前8時30分) 実施 (中央館, 旭川分館)  
3月 ブックディテクション更新 (函館分館, 旭川分館, 岩見沢分館)  
4月 平日の開館時間の繰り上げ (午前8時45分) 及び日曜開館実施 (釧路分館)  
6月 附属図書館自己点検評価報告 (図書館利用者アンケート集計結果) 公表  
10月 電子ジャーナル利用に関するアンケート実施  
16年1月 休業期間中の開館日, 開館時間の拡大 (全館)  
\* 携帯電話版 OPAC を公開  
3月 自動貸出返却装置導入 (3M製) 中央館  
\* ブックディテクション更新 (釧路分館)  
4月 国立大学法人北海道教育大学設置  
\* 組織改組により分館の呼称を廃止し, 附属図書館の構成館を各々札幌館, 函館館, 旭川館, 釧路館, 岩見沢館とした。  
\* 組織改組により図書館事務部を廃止し事務局学術情報室とした。  
\* 係制を廃止してグループ制 (学術情報グループ) とした。  
6月 大学図書館相互利用サービス加入  
10月 「学術情報の集約化に関する検討会」の報告を受け紀要発行事務を学術情報室で担当することになった。  
17年2月 附属図書館中期目標・中期計画・年度計画を策定  
4月 第Ⅱ期北海道教育資料収集整備計画実施報告書が提出される。  
18年6月 図書館利用者アンケート実施  
4月 利用者サービスの一つであるマイライブラリの運用を開始  
19年3月 附属図書館自己点検評価中間報告書刊行  
4月 無線LANアクセスポイント設置 (全館)  
8月 旭川館耐震改修工事实施 (~20年3月)  
20年3月 リポジトリシステム導入 (DSpace1.4.1 (Linux 版))  
4月 図書館情報システム更新 (リコー・LIMEDIO v7.0)  
6月 北海道教育大学学術リポジトリ試験公開  
8月 図書館学外利用者アンケート実施  
\* 函館館耐震改修工事实施 (~12月)  
9月 文献画像伝送システム中止  
10月 図書館利用者 (学生・院生) アンケート実施  
21年5月 リポジトリに関するアンケート調査実施  
12月 電子ジャーナルに関するアンケート調査実施  
22年2月 北海道教育大学学術リポジトリ本公開  
4月 Web 貸出サービス (北海道内学校 (小中学校, 幼稚園, 高等学校, 教育支援学校) 教諭対象 郵送貸出サービス) 開始  
22年9月 CD-ROM サーバシステム中止  
12月 図書館入館システム導入 (全館)  
自動貸出返却装置導入 (函館館, 旭川館, 釧路館, 岩見沢館)  
\* 更新 (札幌館)  
\* ブックディテクション更新 (全館)  
\* 札幌館1階保存庫に電動書架増設  
23年1月 図書館利用者アンケート実施  
2月 附属図書館資料収書方針策定 (館長裁定)